

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月27日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 2540 URL <https://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 井川 明 (TEL) 03-3462-8138
 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年10月30日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,722	△9.6	253	△48.1	448	△33.0	300	△51.0
2020年3月期第2四半期	5,222	1.0	487	190.1	669	96.1	612	152.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	21.81	—
2020年3月期第2四半期	44.57	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	45,767	40,018	87.4
2020年3月期	44,879	39,201	87.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 40,018 百万円 2020年3月期 39,201 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,620	1.3	520	△13.2	870	△7.2	680	△13.7	49.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	16,500,000株	2020年3月期	16,500,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,731,324株	2020年3月期	2,750,766株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	13,758,787株	2020年3月期2Q	13,742,290株

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)におけるわが国経済は、消費については一部持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気は依然として厳しい状況が続いており、海外経済の不確実性等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、中期経営計画(2018年4月～2021年3月)において、「ポジティブエイジングケアカンパニーとして、健やかに、美しく、歳を重ねることに貢献する」という事業ビジョンに基づき、「持続的成長に向けた事業基盤の構築」を基本方針として「選択と集中」「スピードと効率」「コスト管理の徹底」「経営基盤の強化」の基本戦略を推進し、「養命酒の売上回復」と「酒類食品分野の伸長カテゴリーへの注力」により事業の拡大と収益性の向上に取り組んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、当社を取り巻く事業環境も大きく変化しており、変化に対応した体制整備等を進めるため、計画期間を1年間延長して2022年3月までといたしました。また、より分かりやすく経営理念と繋がるよう見直しを行い、「すこやかでより良い時間を願う人々を応援する」という新しい事業ビジョンを策定いたしました。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたこと及び前年同四半期の消費増税による国内「養命酒」の駆け込み需要がなくなったこと等により4,722百万円(前年同四半期比9.6%減)、営業利益は全般的な経費節減に努めたものの253百万円(前年同四半期比48.1%減)、経常利益は448百万円(前年同四半期比33.0%減)、四半期純利益は前年同四半期に計上した固定資産売却益がなくなったことにより300百万円(前年同四半期比51.0%減)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

① 養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は4,528百万円(前年同四半期比10.1%減)となりました。

<養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、新規顧客の獲得と継続飲用者の維持に向けて、引き続き草刈正雄さんを起用したテレビ・新聞広告を実施しました。また、卸店やドラッグストア等主要販売チャネルである小売店と協働し、プロモーションと連動した売り場づくりや購入促進施策等を展開しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部未実施となった販売促進施策があったことや前年同四半期の消費増税による駆け込み需要がなくなったこと等により売上高は、3,573百万円(前年同四半期比7.3%減)となりました。

海外における「養命酒」につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、売上高は、65百万円(前年同四半期比43.2%減)となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は3,639百万円(前年同四半期比8.4%減)となりました。

<その他商品・サービス>

「酒類」につきましては、巣ごもり需要があった一方、コンビニエンスストアや飲食店で「フルーツとハーブのお酒」や「クラフトジン」の売上が減少したことから、「酒類」の売上高は、284百万円(前年同四半期比12.7%減)となりました。

「食品」につきましては、「養命酒製造のど飴」を「養命酒製造クロモジのど飴」へブランド名称の変更を行い、取扱店舗数の拡大に注力した一方、コンビニエンスストアやドラッグストアでの「グミ×サプリ」の売上が減少しました。「食品」の売上高は、369百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。

「リテール」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響によって「くらすわ」及び「養命酒健康の森」等の一部施設の営業休止を行ったことに加え、外出自粛の傾向が続いたこと等により、売上高は、235百万円(前年同四半期比31.8%減)となりました。

以上の結果、「その他商品・サービス」全体の売上高は889百万円(前年同四半期比16.3%減)となりました。

② その他

不動産賃貸と鶴ヶ島太陽光発電所の売上を合算し、売上高は193百万円(前年同四半期比3.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ887百万円増加し、45,767百万円となりました。これは主に有価証券が債券の償還により1,000百万円、長期預金が1,000百万円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が894百万円、投資有価証券が債券の取得、保有株式の時価評価の増加等により1,959百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ71百万円増加し、5,749百万円となりました。これは主に未払法人税等64百万円、工事代金の支払等により流動負債のその他に含まれる未払金156百万円等を含む流動負債が374百万円それぞれ減少した一方で、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が391百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ816百万円増加し、40,018百万円となりました。これは主に四半期純利益300百万円の計上及び配当金552百万円の支払により利益剰余金が252百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が1,024百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ105百万円減少し、1,828百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、522百万円の収入(前年同四半期比13.7%減)となりました。これは主に税引前四半期純利益423百万円、減価償却費294百万円等の増加要因と、法人税等の支払額210百万円等の減少要因によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、79百万円の支出(前年同四半期比89.6%減)となりました。これは主に有価証券の償還による収入1,000百万円、有形固定資産の取得による支出478百万円、投資有価証券の取得による支出600百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、549百万円の支出(前年同四半期比0.2%減)となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の業績予想につきましては、2020年10月9日に公表いたしました通り、売上高10,620百万円、営業利益520百万円、経常利益870百万円、当期純利益680百万円となる見込みです。

しかしながら、今後も新型コロナウイルス感染症の影響等先行き不透明な状況が続くことが想定されます。業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,594,061	7,488,694
売掛金	2,751,643	2,461,979
有価証券	1,000,017	-
商品及び製品	420,656	538,698
仕掛品	130,542	155,672
原材料及び貯蔵品	953,341	935,828
その他	118,405	224,026
流動資産合計	11,968,667	11,804,900
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,971,442	4,062,054
その他(純額)	4,056,121	4,022,838
有形固定資産合計	8,027,563	8,084,892
無形固定資産		
	190,961	158,820
投資その他の資産		
投資有価証券	16,352,310	18,311,604
長期預金	5,500,000	4,500,000
その他	2,848,432	2,915,353
貸倒引当金	△8,340	△8,340
投資その他の資産合計	24,692,403	25,718,618
固定資産合計	32,910,927	33,962,330
資産合計	44,879,595	45,767,231
負債の部		
流動負債		
買掛金	277,866	247,924
未払法人税等	203,298	138,465
賞与引当金	200,331	203,667
その他	1,413,909	1,130,926
流動負債合計	2,095,404	1,720,983
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	3,533,933	3,979,714
固定負債合計	3,582,283	4,028,064
負債合計	5,677,688	5,749,047

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	720,938	720,938
利益剰余金	37,852,007	37,599,734
自己株式	△4,959,124	△4,914,788
株主資本合計	35,263,821	35,055,884
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,938,084	4,962,299
評価・換算差額等合計	3,938,084	4,962,299
純資産合計	39,201,906	40,018,183
負債純資産合計	44,879,595	45,767,231

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	5,222,504	4,722,236
売上原価	1,858,915	1,863,331
売上総利益	3,363,588	2,858,904
販売費及び一般管理費	2,875,847	2,605,632
営業利益	487,741	253,272
営業外収益		
受取利息	18,977	23,055
受取配当金	159,038	161,020
その他	11,181	18,578
営業外収益合計	189,196	202,654
営業外費用		
支払利息	7,531	7,428
その他	336	48
営業外費用合計	7,867	7,477
経常利益	669,070	448,449
特別利益		
固定資産売却益	207,437	2,054
特別利益合計	207,437	2,054
特別損失		
固定資産除却損	2,921	26,533
特別損失合計	2,921	26,533
税引前四半期純利益	873,586	423,970
法人税、住民税及び事業税	261,000	148,000
法人税等調整額	73	△24,111
法人税等合計	261,073	123,888
四半期純利益	612,512	300,081

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	873,586	423,970
減価償却費	274,016	294,962
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,178	3,336
受取利息及び受取配当金	△178,015	△184,076
支払利息	7,531	7,428
有形固定資産売却損益(△は益)	△207,437	△2,054
固定資産除却損	2,921	26,533
売上債権の増減額(△は増加)	△395,391	289,663
たな卸資産の増減額(△は増加)	57,370	△125,658
仕入債務の増減額(△は減少)	△32,100	△29,941
未払費用の増減額(△は減少)	117,937	38,587
未払消費税等の増減額(△は減少)	108,323	△53,499
その他	△54,082	△124,261
小計	569,482	564,990
利息及び配当金の受取額	178,197	182,743
利息の支払額	△13,268	△13,752
法人税等の支払額	△128,605	△210,984
営業活動によるキャッシュ・フロー	605,804	522,997
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,100,000	△1,100,000
定期預金の払戻による収入	1,500,000	1,100,000
有価証券の償還による収入	1,000,000	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△392,301	△478,149
有形固定資産の売却による収入	252,756	8,690
無形固定資産の取得による支出	△21,739	△10,082
投資有価証券の取得による支出	△1,000,081	△600,084
その他	380	380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△760,985	△79,247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	700,000	700,000
短期借入金の返済による支出	△700,000	△700,000
自己株式の取得による支出	△157	△111
配当金の支払額	△550,323	△549,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△550,481	△549,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	△146	448
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△705,807	△105,366
現金及び現金同等物の期首残高	2,159,075	1,934,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,453,267	1,828,694

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社は、前事業年度の有価証券報告書の追加情報において新型コロナウイルス感染症拡大による影響を2021年3月期の半ばまで続くものとの仮定に基づき、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損等の会計上の見積りを行うこととしておりました。

しかし、政府から発令された緊急事態宣言の解除等により、緩やかな回復傾向が見られるものの、依然として直営の商業施設を中心に外出自粛等の影響を受けることが想定されることから、同感染症拡大による業績への影響は、少なくとも2021年3月期一杯は続くものとの仮定に基づき会計上の見積りを行うことといたしました。